

令和3年第2回市議会定例会代表質問一覧表

1 日 時 令和3年6月22日(火) 午前9時30分

2 質問者 (質問順)

- | | | |
|---------------|-----|-----------|
| (1) 新緑水クラブ | 30分 | (1 北川明夫) |
| (2) 市友会 | 30分 | (2 蔵満秀規) |
| (3) 公明党 | 30分 | (3 石丸喜久雄) |
| (4) 日本共産党議員団 | 30分 | (4 坂 ゆかり) |
| (5) 子どもたちに青い空 | 30分 | (5 村瀬晃代) |

3 質問事項、要旨及び項目

質 問 者	1 北川明夫議員（新緑水クラブ）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市政運営の基本姿勢について	1 花田新市長の下で、新たな50年先を見据えたまちづくりが本格的にスタートしたが、改めて理想とするまちの姿と市政運営の決意を伺う	(1) 「継承そして更なる発展」をめざすとしているが、どんなまちの未来像を描いているのか。また、そのため、市長としてのリーダーシップをどのように発揮していく考えなのか	
2 経済見通しと市政運営方針について	1 リーマンショックを超えるコロナ禍の経済不況から、景気回復の動きは二極化してきており、市内企業にも同様の傾向が見られ、個人所得への悪影響も懸念される。そこで、こうした経済状況下での市政運営の基本方針について伺う	(1) 厳しい状況が続く中で、市内企業、個人事業主や生活者への経済的な影響はどのような状況か。また、本市の税収等見込みに及ぼす影響をどのように分析しているのか (2) 今後もコロナ対策の強化・継続が予想される中、行政改革の推進を始め基金や地方債の活用を含めた財政運営において、どのような基本方針で臨む考えなのか	
3 「まち・ひとを守る」について	1 新型コロナウイルス感染症との闘いが1年半に及び、基本的な感染防止策の徹底とワクチン接種が最も有効な対策であると分かった。目下、本市も医療関係者のご協力を頂き、ワクチン接種の拡大を急ピッチで進めている。そこで、今後のワクチン接種の対応と共に、疲弊した事業者や市民への新たな応援策について伺う	(1) 64歳以下で基礎疾患がある人や60歳から64歳までの人へのワクチン接種はいつ頃までに終了する見込みなのか。また、優先接種が必要とされる人や59歳以下の人へのワクチン接種は、どのような予定を検討しているのか (2) コロナ禍の終息後を見越して、キャッシュレス決済ポイント還元と地域振興券の発行を行うとのことだが、いつ頃を目標に、どのような方法を検討しているのか	

	<p>2 風水害や地震災害が頻発しているが、仮にコロナ禍で発災した場合は、複合災害の最悪事態が想定される。それに備え、地域強靱化計画のアクションプランを着実に実行すると同時に、生命を守る避難などの実践訓練が必要であると考へ、今後の対応について伺う</p>	<p>(1) 地域強靱化計画では、本市の脆弱性及び重要業績指標に対する現状評価はどのようなか。また、重要業績指標の達成度評価は、いつどのように行っていくのか</p> <p>(2) 避難行動要支援者の個別支援計画の策定や、感染症対策を踏まえた避難所運営訓練の実施は、早い対応が必要であるが、どのように促進するのか</p>	
<p>4 「人を育む」について</p>	<p>1 この1年半で、子供達を取り巻く教育環境や学校生活は激変してきた。4月から一人一台端末が配備され、学びの方法と質の向上が期待されるので、早期定着に向けた課題を伺う。また、避難所機能の中核となる屋内運動場の空調機の設置について、今後の計画を伺う</p>	<p>(1) 一人一台端末の使用ルール、健康面への配慮やトラブル時の対応など子供達を始め関係者が共通理解を深めることが重要だが、これまでの対応と今後の取組課題はどのようなか</p> <p>(2) 空調機設置をプロパンガス方式で行うメリットと空調能力など整備概要はどのようなか。また、全ての拠点避難所に、速やかな空調機の設置が望まれるが、今後の計画はどうか</p>	
<p>5 「暮らしを応援する」について</p>	<p>1 コロナ禍で、子育て家庭を取り巻く環境は、厳しさを増している。特に共働き世帯には、保育所への入所が死活問題であり、行政側の確保体制が重要である。また、多様化する保育ニーズへの適切な対応も必要となっている。そこで、民間事業者の参入の促進など、今後の保育サービスの対応方針について伺う</p>	<p>(1) 民間保育所等の参入状況はどのようなか。また、公立保育園と民間保育所等との連携は、どのように図っているのか</p> <p>(2) 将来、保育施設の過剰供給が懸念されるが、本市は、今後の公立・私立の役割分担や民間保育所等の新設整備について、どのような対応方針なのか</p>	

	2 コロナ禍で、高齢者はステイホームを余儀なくされ、様々な活動や交流が減少しており、心身機能の低下に対する不安を抱いている。高齢者の実態把握が難しい状況にあるが、行政には高齢者の健康寿命を維持し、延伸させるための支援が求められており、具体的な取組を伺う	(1) 高齢者宅への訪問支援を行っているが、高齢者の健康寿命との関わりで今日的な課題は何なのか。また、それに対し、どのような行政サービスが求められているのか (2) 心身の健康保持のための活動を行っているシニアクラブへの加入者数が年々減少しているが、その原因は何か。また、減少を食い止め、活動を活性化するには、今後、どのような取組を考えているのか	
6 「まちをつくる」について	1 西知多道路の整備区間が延伸される一方で、市域内の土地区画整理事業等による市街地整備が各地区で進められるなど、都市基盤整備が進展してきている。そこで、本市の都市基盤づくりの主要事項について状況等を伺う	(1) 西知多道路の大田IC（仮称）の整備は、土地区画整理事業との整合を図る観点から、早期の事業着手が望まれるが、現時点での整備手法と事業化の見通しはどのようなか (2) 平成31年3月に市街化区域に編入した地区の土地区画整理事業等は、着実に事業が進捗しているが、これらによる人口増加を始め、商業施設や工場等の進出の見込みはどうか (3) 「積極的に民間投資を喚起する」とのことだが、都市計画マスタープランで新市街地候補地区に位置付けられている4地区は、今後、市街地の形成の検討をどう進めていくか	
7 「ひとを呼ぶ」について	1 改修等が必要な公共施設を魅力あふれる形でリニューアルすることは、市民サービスの向上と共に、観光資源として打ち出す大きなチャンスである。そこで、計画されている農業センターと文化センターのリニューアルについて伺う	(1) 農業センターは、民間のアイデアにより新たな交流機能が付加されることが期待できるが、さらに隣接する大池公園を活かした一体的な利用方法の検討を行ってはどうか (2) 文化センターの建替は、横須賀文化とまちのにぎわい創出の発信拠点として期待が高まっているが、新施設整備のコンセプトはどのようなか。また、従来の生涯学習機能の確保については、どのように考えているか	
8 「新たな生活をつくる」について	1 急速に進行するデジタル社会に対応し、行政のデジタル化を加速するため、本年4月からデジタル推進課が新設された。そこで、国や県の動向も踏まえて、今後の本市の取組について伺う	(1) 情報システムの標準化・共通化を始め、行政手続のオンライン化やマイナンバーカードの普及促進などが重点取組事項であるが、どのようなスケジュールで推進するのか (2) デジタル化の実効性を高めるには、各課職員のレベルアップが必須となるが、どのような体制で教育研修を行うのか	

	<p>2 地域の力がますます重要となる中、地域社会を持続可能にするため、今後はコミュニティを中心とした新たな地域運営体制を構築することのことだが、現状の課題と具体的な対応策、及び活動の拠点施設の整備について伺う</p>	<p>(1) 地域を支えるコミュニティや町内会・自治会など各種団体の活動状況について、その課題と改善策の方向性はどうか (2) 新たな地域運営体制の中で、市が担う役割は何か。また、コミュニティには、具体的にどのような支援を行う考えか (3) (仮称) 緑陽コミュニティセンターの整備方針と運営方法は、どのようなか。また、この事業は、公共建築物再編計画に基づく地域密着型施設再配置の最初の取組事例に位置付けられるのか</p>	
<p>9 「住み続けられるまちづくり」について</p>	<p>1 長期的なまちづくりの指針となる総合計画の改定作業が開始されるが、SDGs=17の持続可能な開発目標は欠かせない重要な観点である。そこで、これらを踏まえた第7次総合計画の策定ビジョンについて伺う</p>	<p>(1) 現総合計画は、めざすまちの姿とめざす値の設定など個性的で評価が高いが、新総合計画の策定に向けては、どのような目標設定と成果測定を考えているのか。また、SDGsの考え方をどのように取り入れていく方針なのか (2) 策定プロセスでは、広範な市民や各種団体はもとより、企業や勤労者など多様な意見の集約が必要だが、どのような工夫を講じる考えか。また、市民意識調査はどのように行うのか</p>	
	<p>2 2050年を目標に脱炭素社会を実現することは、今や世界共通の課題であり、今後、本市の取組も格段に強化していく必要がある。そこで、地球温暖化対策の実効性を高めていく具体策等について伺う</p>	<p>(1) 市の地球温暖化対策実行計画を改定すると伺うが、どのように対策を強化するのか。また、計画中に、公共施設の屋根貸しによる太陽光発電設備設置の推進を位置付ける考えはあるのか (2) 国が進める2050年ゼロカーボンシティ宣言の表明や、地域脱炭素ロードマップによる取組を検討してはどうか (3) 脱炭素社会をめざす上で、清掃センターの可燃ごみ焼却を減らすことが大切だが、減少傾向にある資源ごみ回収量の増加策として、今後、どのような対策を講じていくのか</p>	

質 問 者	2 歳 満 秀 規 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 まち・ひとを守る について	1 新型コロナウイルスから市民の生命・生活を守る最も有効な手段とされるワクチン接種は、65歳以上の約2万7千人の接種が7月末終了を目指し進められており、また、7月からは基礎疾患のある方を含め、60歳から64歳へと接種が進められる予定であるが、一日も早く希望する市民全員の接種が急務であることから、その内容について質す	(1) 現在、集団接種及び個別接種が進められているが、65歳以上の接種状況について聞きたい (2) 政府は令和3年10月から11月にかけて、希望する全ての国民のワクチン接種を終えるとしているが、59歳以下の接種スケジュールについて聞きたい (3) 接種開始から現在まで、接種会場における副反応疑いの事例はどのようなものがあつたか、その症状、件数及び対応について聞きたい (4) これまでに接種した、また、今後接種が予定されるワクチンの製薬会社とその安全性について聞きたい (5) 現在、ワクチン接種を大きく加速化するために、国は新たに職場や学校における職域接種を推し進めているが、市内における職域接種の状況はどのようなか。また、職域接種の拡大に向けた市の取組について聞きたい	
	2 感染拡大防止として、集団感染が危惧される職種についてPCR検査を実施しているが、その状況と今後の対象者の範囲拡大について質す	(1) これまで市が行ったPCR検査の実績について聞きたい (2) 集団感染が危惧される学校や保育所、介護・福祉施設等においては、濃厚接触者と認定されずとも、感染の可能性が疑われる場合、一定の基準を設けてPCR検査を実施しているが、市が費用負担する定期・不定期なPCR検査の基準について聞きたい (3) 経済を支える市内の民間企業についても、感染の可能性が疑われる場合、市が一定の基準を設けてPCR検査の費用負担の対象となるよう検討すべきと考えるが、市の考えについて聞きたい	

	<p>3 コロナ禍に対応する市職員の過重労働が心配されるが、市民へのワクチン接種を確実にスムーズに実施する為にも、ワクチン接種における体制強化等による職員の業務負担軽減が必須と考えることから、担当課の勤務実態について質す</p>	<p>(1) 現在、市民福祉部健康推進課が主体となって、コロナ禍の対応を行っているが、業務スパンの広がりによって過重労働が心配されることから、労働時間の実態について聞きたい</p> <p>(2) 当課は、福祉に係る通常の職務を遂行しながら、新たにワクチン接種の業務内容が追加されているが、ワクチンの取り扱い等、業務の追加内容の詳細について聞きたい</p> <p>(3) 今後も、担当職員には、精神的・肉体的業務負担が強いられると危惧するが、ワクチン接種における体制強化としての部・課を超えた応援体制の実施状況及び今回の組織編成の考え方について聞きたい</p>	
<p>2 人を育むについて</p>	<p>1 現在、中学校の屋内運動場への空調機設置が進められているが、小中学校の特別教室への空調機設置等、今後の計画について質す</p>	<p>(1) 中学校の屋内運動場への空調機設置は、震災対策はもとより、子どもたちの熱中症対策や、施設利用する一般市民の健康に欠かせないと考えるが、先行して、名和中学校、横須賀中学校を整備するに至った経緯と、今後の設置スケジュールについて聞きたい</p> <p>(2) 屋内運動場への空調機設置以外にも、音楽室や美術室等、特別教室への空調機設置も急務であると認識しているが、市の考えについて聞きたい</p>	
	<p>2 平和や自然について考えることができる沖縄体験学習等、コロナ禍における子どもたちの姉妹都市との交流のあり方について質す</p>	<p>(1) 姉妹都市との交流については、コロナ禍にあつて令和2年度は延期又は中止となっており、令和3年度も開催が不透明な状況にあると受け止めるが、今年度導入したICT機器を取り入れたオンライン交流等の新たな取組も検討すべきと考えるが、市の考えについて聞きたい</p>	
	<p>3 不登校を理由とする小中学生における30日以上欠席者は、平成30年度214人、令和元年度205人、令和2年度216人であり、様々な対応策を実施しているものの、ほぼ横ばい状態であることから、教育環境の整備内容について質す</p>	<p>(1) 令和2年度から配置しているスクールソーシャルワーカーや、スクールカウンセラー、心の相談員の配置人数や、活動内容について聞きたい</p> <p>(2) それぞれの連携を強化し、相談体制を充実させるとしているが、具体的内容について聞きたい</p>	

<p>3 ひとを呼ぶについて</p>	<p>1 アフターコロナをも視野に、これまで長期的視点で取り組んできたまちのにぎわいの創出は、勢いを止めるべきではないと考えるが、現在取り組んでいる観光ブランドの確立等、交流人口の拡大によるにぎわい創出の内容について質す</p>	<p>(1) 新たな観光資源の発掘は重要と考えるが、先ずは大池公園の桜・花しょうぶ、元浜公園の薔薇、しあわせ村の紅葉等、市民に親しまれている既存の観光資源に、更なる磨きをかけることも必要と考えるが、今後の施策について聞きたい</p> <p>(2) 臨海部企業との協力により社会実験を実施した工場夜景クルーズ等について、募集後直ちに完売と好評を得ていることから、継続すべきと考えるが、今後の運営方法について聞きたい</p> <p>(3) 聚楽園大仏は、市民はもとより全国的に観光スポットとして名を馳せており、令和3年度は大仏のライトアップを考えているが、その具体的内容について聞きたい</p>	
--------------------	--	---	--

質 問 者	3 石 丸 喜久雄 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 経済見通し・本市を取り巻く状況について	1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による令和3年度及び今後の財政運営への影響と対策について問う	(1) 市税収入への影響及び今後の財政状況はどうか (2) 財政調整基金残高への影響はどうか (3) 第9次実施計画への影響及びその対策はどうか	
2 「まち・ひとを守る」について	1 市民生活・地域経済を回復させるために講じる市独自の支援策について問う	(1) 地域振興券の発行事業の基本的な考え方と具体的な内容及び期待される効果はどうか (2) 市独自のキャッシュレス決済ポイント還元事業の基本的な考え方と具体的な内容及び期待される効果はどうか。また、地域経済の動向次第では第2弾、第3弾の実施も検討してはどうか	
	2 新型コロナワクチンの接種状況及び今後の進め方等について問う	(1) 現在、65歳以上の高齢者を対象にした接種が行われているが、接種状況はどのようか。また、接種を希望する65歳以上の方への接種完了時期の見込みはどうか (2) 今後、64歳以下の一般の方たちを対象にした接種を開始する予定だが、どのように進めていく考えか。また、接種の加速化に向けて及び先行接種での経験を生かして、改善を図る考えはあるか (3) 在宅の要介護者や重度障害者等、寝たきりの方や要配慮者への接種について、どのように考えているか (4) 2回目のワクチン接種を終えた方が徐々に増えてくるが、接種完了した方に対しても、マスクの着用等、引き続き感染防止対策の必要性を啓発することが重要と思うがどうか	
	3 「東海市地域強靱化計画」の改定及び「東海市地域強靱化アクションプラン」の策定について問う	(1) 「東海市地域強靱化計画」の改定及び「東海市地域強靱化アクションプラン」の策定について、基本的な考え方及び期待される効果はどうか (2) 計画の推進に当たり、市民及び事業者等への周知及び連携はどのように進めていく考えか	

3 「人を育む」について	1 ICTを活用した学校教育のデジタル化を推進していくための取組及び不登校対策について問う	<p>(1) ICTを活用した学校教育のデジタル化を推進していくための取組の現状、課題及び期待される効果はどうか</p> <p>(2) 新しい教育様式として求められる非常時の対応として、ICTを活用した遠隔・オンライン教育や家庭学習を推進していくための取組の現状、課題及び期待される効果はどうか</p> <p>(3) スクールソーシャルワーカーの具体的な活動内容及び効果はどうか。また、スクールカウンセラー及び心の相談員との役割の違い及び連携を強化することで期待される効果はどうか</p> <p>(4) 不登校児童生徒に対するICT等を活用した学習支援の現状はどうか</p> <p>(5) 不登校児童生徒が、学校外の施設においてICT等を活用した学習活動を行った場合に、一定の要件を満たせば「出席扱い」にしている文部科学省の通知について、どのように考えているか</p>	
4 「暮らしを応援する」について	1 コミュニティと連携した地域で子どもを育む環境づくり及び高齢者の熱中症対策として実施するエアコン設置費の補助事業について問う	<p>(1) 「地域で子どもを育む環境づくりを進める」としているが、基本的な考え方、具体的な方法及び期待される効果はどうか</p> <p>(2) 高齢者熱中症対策空調機設置費補助事業においては、対象者への分かりやすい周知の徹底、申請方法の簡素化、迅速な承認及び市内事業者との連携が重要と考えるが、どのように進めていく考えか</p>	
5 「まちをつくる」について	1 まちづくりを進めていくことで、新たな企業進出、居住人口の増加等による地域経済の活性化を図るとあるが、太田川駅西を始め施行予定を含む市内4か所の土地区画整理事業及び民間事業者による加木屋社山北地区を始め2か所の開発の事業概要、スケジュール及び効果について問う	<p>(1) 太田川駅西、加木屋中部、名和駅西及び富木島石根の土地区画整理事業の事業概要、スケジュール及び期待される効果はどうか</p> <p>(2) 民間事業者による加木屋社山北地区の宅地開発及び名和共和地区の産業・物流団地開発の事業概要及びスケジュールをどのように把握しているか。また、期待される効果はどうか</p>	

6 「ひとを呼ぶ」について	1 聚楽園大仏等文化財調査事業の結果及び観光資源としての可能性について問う	(1) 聚楽園大仏等文化財調査事業において、聚楽園大仏の文化財的価値や劣化状況等を調査してきたが、結果はどうだったか (2) 聚楽園大仏に対する市内外の方への認知度の現状をどのように把握しているか。また、観光資源となり得る可能性について、どのように考えているか	
7 「新たな生活をつくる」について	1 国が進める自治体情報システムの標準化・共通化について及び誰もが行政手続きのオンライン化の恩恵を受けられるようにする取組について問う	(1) 国が進める自治体情報システムの標準化・共通化に向けて、本市における課題及び期待される効果はどうか (2) 行政手続きのオンライン化の導入に向けて、高齢者を始めスマートフォンを持たない、操作できない方への対策はどのように考えているか	
8 「住み続けられるまちづくり」について	1 第7次総合計画の策定に向けての基本的な考え方について問う	(1) SDG s の考え方を取り入れる意義及び期待される効果はどうか (2) 市民ニーズの把握について、基本的な考え方と方法はどうか	

質 問 者	4 坂 ゆかり 議員 (日本共産党議員団)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市政運営の基本姿勢について	1 多くのまちづくり指標や成果指標で改善が図られていると述べているが、市の認識を問う	(1) まちづくり指標や成果指標の推移において、まだ改善が求められるのは、どの分野だと認識し、どのように解決を図っていくつもりか	
	2 市民の総意を反映したまちづくりの推進について問う	(1) 「人と人のつながり・絆」を大切にと述べていることから、市長が市民の声を直接聞く機会を設けてはどうか	
2 経済見通し・本市を取り巻く状況について	1 市財政にも大きな影響を及ぼす極めて厳しいコロナ禍の社会経済情勢を乗り越えるための積極的な予算編成について問う	(1) 積極的な予算編成をしたと述べているが、具体的にはどのような分野に現れているか (2) 新型コロナウイルス感染症の影響による市民生活の困窮について、どのように認識し、市民生活の安心安全を確保するため、どのような考えで予算編成を行ったのか	
3 「まち・ひとを守る」について	1 新型コロナウイルス感染症から市民を守り、大きな打撃を受けた市民生活・地域経済を回復させるための市独自の支援策について問う	(1) 地域振興券の発行について、市民生活の活力につなげるとしているが、発行対象者及び利用できる事業所をどのように考えているか (2) 濃厚接触者以外の方へのPCR検査等の実施人数はどのようなか (3) 集団感染が危惧される学校や保育所、介護・福祉施設等は、定期的なPCR検査を実施すべきではないか (4) 現在までに緊急時生活支援チームを利用した人数はどのようなか	

	<p>2 新型コロナのワクチン接種について、万全の態勢で取り組むとしているが、市ホームページからの予約を勧めていても、ホームページから予約できない方が予想を上回ったと思われる。また、高齢者向けの集団接種会場へのタクシー送迎の利用は、しあわせ村・市役所で1日最大12台であり、利用できる人数は、極めて限定的であるとする。ワクチン接種の態勢について問う</p>	<p>(1) 高齢者向けのワクチン接種が始まっているが、どのような問い合わせがあり、どのように対処したか。また、今後の課題はどのようなか (2) できる対策を躊躇なく実行していくと述べているが、高齢者向けのタクシー送迎について、利用台数を増やす考えはあるか (3) 今後、64歳以下の方へのワクチン接種も進んでいくが、あくまで接種するかどうかは個人の判断であるので、接種しない人が差別されないためにどのような方策を考えているか</p>	
	<p>3 「東海市地域強靱化計画」の改定について問う</p>	<p>(1) 本市の地域特性や災害リスクをどのように捉え、主な改定点はどのようなか</p>	
	<p>4 浸水対策について問う</p>	<p>(1) 加木屋町木之下地区に雨水貯留施設を計画しているが、加木屋町の内堀地区においても台風や大雨に備え、浸水対策を講じるべきではないか</p>	
<p>4 「人を育て」について</p>	<p>1 ICTの活用に対応した学校施設の整備について問う</p>	<p>(1) ICTを有効に活用するには、ICT支援員を少なくとも全小中学校に配置するようにすべきではないか (2) 一人一台の情報端末を授業で利用するようになり、子どもたちの机の上にはA4版の教科書やノート、プリント等に加え、タブレットも置くと、机の大きさもそれに対応したものにすべきではないか</p>	
<p>5 「暮らしを応援する」について</p>	<p>1 結婚、出産、子育てへの切れ目のない支援について問う</p>	<p>(1) 本市における年間の出生数はどのようなか (2) 妊娠期から子育て期に向けて切れ目のない支援を行ってきたと述べているが、市内で出産できる環境がない現状について、どのように考えているか</p>	

	2 高齢者のみ世帯で、エアコン未設置の非課税世帯の方に対し、エアコン設置費を補助するとしているが、現在、エアコン未設置の世帯は極めて少ないと考えられる。高齢者の熱中症対策について問う	(1) 本市における高齢者のみ世帯でエアコン未設置の世帯の割合がどのくらいか把握しているか (2) エアコンが故障して使用できない高齢者のみ世帯についても対象となるか	
6 「まちをつくる」について	1 リニア中央新幹線の東京―名古屋間の開通による立地特性・立地ポテンシャルを活かしたまちづくりについて問う	(1) 居住人口の増加、交流人口の拡大については、具体的にはどのくらいを見込んでいるか (2) 西知多道路を整備することで、災害時の輸送路の確保に対応できるとあるが、具体的にはどのようなか	
7 「ひとを呼ぶ」について	1 文化センターのリニューアルについて、全館建替により横須賀文化の発信拠点として、地域特性を備えた学びと地域の観光促進につながるような施設のあり方を検討していくと述べているが、市の見解を問う	(1) 文化センターは、社会教育施設としての中央公民館であり、多様な学習機会を提供している。新しい施設への建替に際して、これらの利用者の意見を基本計画にどのように反映させていくつもりか	
8 「新たな生活をつくる」について	1 デジタル・ガバメントの推進について問う	(1) 自治体の情報システムの標準化・共通化等を始めとする「デジタル・ガバメントの構築」によって、市の独自施策の抑制につながると考えるが、市の認識はどうか	
	2 コミュニティを構成している町内会、自治会等で高齢を理由に脱会する方も多。これからの地域づくりについて問う	(1) コミュニティを中心とした新たな地域運営体制を構築する上での課題はどのようなか	
9 「住み続けられるまちづくり」について	1 2024年度からスタートする第7次総合計画の策定に向けてのSDGs（持続可能な開発目標）の考え方を取り入れた取組について問う	(1) 第7次総合計画の策定に向けて、話し合う場を持ち、幅広く市民の声を集約し、より多くの市民の意見を反映した計画を策定するとしているが、どのような形式や規模、回数で話し合う場を持つことを考えているか	

	<p>2 2020年10月に、菅首相は国において「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言した。2021年度、市としての地球温暖化対策の実行計画を策定するとしている。脱炭素社会の実現に向けた取組の推進について問う</p>	<p>(1) 市、事業者、市民のそれぞれが実践できる取組として、脱炭素社会の実現に向け具体的にどのようなことが考えられるか</p>	
--	--	---	--

質 問 者	5 村 瀬 晃 代 議 員 (子どもたちに青い空)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市政運営の基本姿勢と経営方針について	1 50年先を見据えたまちづくりの基本姿勢とコロナ禍の社会経済の情勢について問う	(1) 50年先を見据えた、次の世代につないでいく「継承そして更なる発展」とは具体的にどのようなものであるか (2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、我が国の経済は厳しい状況が続いているが、本市として、経済対策を含め、市民の生活を守るための対策はどのようなものであるか	
	2 日本製鉄株の高炉の休止の追加等による生産規模の縮小、国内製鉄事業の再構築の発表による影響及び今後の財政状況の見込みについて問う	(1) 基幹産業である鉄鋼産業の日本製鉄株が3月に発表した中期経営計画において、国内外の厳しい経営環境を踏まえ、高炉の休止の追加等による生産規模の縮小、国内製鉄事業の再構築が発表される等、今後の動向にも注意が必要とのことだが、本市にどのような影響が生じると考えられるか (2) 令和3年度及びその後の本市の財政状況の見込みはどのようなものであるか	
2 まち・ひとを守るについて	1 新型コロナウイルス感染症から市民を守り、大きな打撃を受けた市民生活・地域経済を回復させ、再び活力を取り戻せるよう、市独自の支援の取組及び防災・減災対策について問う	(1) 飲食店や事業所の支援のための市独自のキャッシュレス決済ポイント還元の実施と、地域振興券の発行の時期等の検討状況はどのようなものであるか。また、事業実施の効果をどのように分析しているか (2) ワクチン接種スケジュールの当初の見込みと現在の進捗状況はどのようなものであるか。また、本市の接種現場での課題及び対策はどのようなものであるか (3) 高齢者向けの集団接種会場へのタクシー送迎の効果及び利用状況はどのようなものであるか (4) 令和2年度末に改定された「東海市地域強靱化計画」では、ハード・ソフト一体となった市の強靱化を推進していくとあるが、改定された点を含め具体的な内容はどのようなものであるか	

3 人を育むについて	1 東海市の子どもたちに、生きる力、学ぶ力、ふるさとを愛する心を育む教育環境の整備について問う	<p>(1) 児童生徒に1台ずつ情報端末を配備したが、教師の支援、ICT教育の推進方法等の検討が、後手とならないか懸念されるが、具体的にどのような情報端末を活用した学習活動を目指しているのか。また、教育現場における実践スケジュールはどのようなものであるか</p> <p>(2) 不登校生が未だに多くいる中で、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、心の相談員等の連携を強化し、児童生徒の不安や悩みを解消するための相談体制の充実とは具体的にどのようなものであるか</p> <p>(3) 郷土の偉人「細井平洲先生」についての学びは実際どのように取り組んでいるのか</p>	
4 暮らしを応援するについて	1 結婚、出産、子育てへの切れ目のない支援の実現について問う	<p>(1) 地域コミュニティの希薄化が問題となっている中で、コミュニティを中心とした地域づくりと連携を図りながら、地域で子どもを育む環境づくりとは具体的にどのようなものであるか。また、人と人の希薄化の改善策をどのように考えているか</p> <p>(2) 待機児童の解消や多様な保育ニーズに対応するため、民間事業者の参入を進めてきたが、どのような事業効果が得られたか</p> <p>(3) 小規模保育所や認定こども園を整備する民間事業者へのこれまでの補助実績と今後の整備方針はどのようなか</p>	
5 まちをつくるについて	1 西知多道路に関連し、新設予定の大田インターチェンジ（仮称）の整備に併せた周辺整備について問う	(1) 大田インターチェンジ（仮称）の整備の中に、道の駅のような人を呼び込むことができる施設の建設を考えてはどうか。また、県内外からの誘客が見込める大型商業施設等を誘致し、将来的なにぎわいの創出につなげていく考えはあるか	
6 人を呼ぶについて	1 地域競争力のある観光ブランドを確立し、交流人口の拡大によるにぎわいを創出することについて問う	(1) 工場夜景を活かしたクルーズ船の運航や聚楽園大仏のより一層の観光資源化等、アイデア満載で、非常に積極的・戦略的な取組だと考えるが、観光客のお土産となるような名物、特産品等がないため、市民も巻き込んで、名物等を創出する等、観光資源のブラッシュアップにつなげていくべきと考えるがいかに	

7 新たな生活をつくるについて	1 新たな日常に対応したまちづくりを進めていくことについて問う	<p>(1) 国においては令和3年9月のデジタル庁の設置をはじめ、自治体の情報システムの標準化・共通化等を通じて「デジタルガバメントの構築」に向けた取組が進められているが、これに乗り遅れないよう、令和3年4月に新設されたデジタル推進課のデジタル化対応業務の進捗状況はどのようなものであるか</p> <p>(2) スマートフォンでの行政手続きのオンライン化の導入は、市民生活に浸透することが容易ではないと考えるが、どのように考えているのか。また、市民への周知等の取組はどのように考えているか</p> <p>(3) コミュニティを中心とした新たな地域運営体制の構築に向けて、町内会等の加入率低下の影響をどのように考えているか。また、新たな地域運営体制の構築に向けた具体的スケジュールはどのようなものであるか</p>	
8 住み続けられるまちづくりについて	1 SDGs (持続可能な開発目標)の理念をまちづくりに活かすことについて問う	<p>(1) 「持続可能性」の観点で新しい将来都市像、まちづくりのビジョンを描くとはどういうことか</p> <p>(2) 将来都市像や目指すべき姿について、話し合う場を持ち、幅広く市民の声を集約しとあるが、市長自らが積極的に、市民に胸襟を開き、対話を行うことが望ましいと考えるがどうか</p>	
	2 本市における脱炭素社会の実現に向けた取組について問う	<p>(1) 本市のカーボンニュートラルを実現させるためには、大規模製造事業所の1つである日本製鉄株の協力が必須であり、市役所と市民と日本製鉄株をはじめとした事業者が1つのチームとして一丸となり行動を実践していくべきと考えるがどのようなものであるか</p>	